



# 万倉小だより



【教育目標】「地域を愛し、人を大切にする学校」【めざす児童像】「ともに伸びる」

【チャレンジ目標】「あいさついちばん やさしさいちばん やりますいちばん」

## ご支援・ご協力ありがとうございました！

全国的なコロナ禍の中で始まった令和2年度も、無事終わりを迎えることができました。この1年間は、感染症まん延防止のために「新しい生活様式」を余儀なくされ、教育活動を大きく変えざるを得ない事態となりました。地域とともにある万倉小学校の充実した教育を、どのようにすれば継続できるか、どのような方法で実施することができるか、試行錯誤の日々。しかし、ピンチをチャンスととらえ、今まで経験したことのない新しい取組を思い切ってできた年でもありました。万倉小の強みであったICT機器を活用した遠隔授業や個別学習、マーチング青空公演やこれまでの地域活動を振り返って作成したプレゼン等々。どれも、地域の方や保護者の方のご理解や励ましがあったからこそできたことです。たくさんのご支援をいただきながら、子どもたちが元気に学校に来て充実した学習や活動を行うことができました。本当にありがとうございました。

また、直接対面し一緒に活動することの良さや意義を改めて感じることもできた1年間でもありました。(今のところは)東京オリンピックが開催される令和3年度。コロナ禍はまだまだ続きますが、希望に満ちた明るい雰囲気の中で教育活動を進めていけそうな予感があります。今年度の経験を生かし、今までの行事はできるだけ実施するとともに、新たな万倉小学校の教育の在り方を作っていくため、主体的に様々なことにチャレンジしていこうと思います。子どもたちとともに、地域の皆様とともに、「ともに伸びる」万倉小学校をつくっていきたいと思います。新年度におきましても、変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和2年度 第74回卒業証書授与式

3月19日(金)に、無事に卒業証書授与式を行うことができました。今年度は感染防止対策を万全にし、在校生も式に参加することができました。地域の代表として、万倉小学校運営協議会会長様、PTA会長様にもご臨席いただきました。

6年間1人で頑張ってきた卒業生、その集大成の場で、小学校過程を修了した証書を堂々とした姿で受け取ることができました。「お別れの言葉」では、在校生は卒業生へ一人一人のメッセージを伝え、卒業生は答辞で6年間の軌跡やこれからの決意を伝えました。言葉をかみしめ思い出を振り返りながら、お互いに感謝の気持ちを伝えることができました。

式ではPTA会長様に「コロナ禍の1年間、よく万倉小のみんなを引っ張ってくれたね。ありがとう。ここで学んだことを生かし充実した中学校生活を送ってください。」とエールをいただきました。



校長式辞では、以下の内容(抜粋)を卒業生への贈る言葉としています。

全国的なコロナ禍で始まった令和2年度。最上級生としての自覚をもって臨もうとした中、様々なことを我慢し変化を余儀なくされた1年間でした。しかし、そのことを落ち着いて受け止め、不平不満は一切言わず、今できることを粛々と行っていた卒業生。3月に入って、6年間で培った力を確かめる卒業検定をしましたね。毎朝校長室に来て新聞を読み、どんなことに関心をもちどんな思いを抱いたか話をしてもらいました。感想を聞くと、自分ごととして感じ取り、社会と自分たちの生活が深く関連づいていることを理解できていることがわかりました。同級生がいないこの6年間は、重荷になることがたくさんあったことでしょう。でも、入学してからずっと、まわりの人たちに支えられながら一つ一つしっかりと学びとり、人として大切な心を育ててきたことが伝わった卒業検定でした。百点満点合格です。立派に育った卒業生を送り出せることを、本当に誇りに思います。

合格の記念に、書家、相田みつをさんの「めぐりあい」という詩を送りたいと思います。

「あなたにめぐりあえてほんとうによかった

ひとりでもいい ころから そういつてくれるひとがあれば」

これから大きな集団の中に入っていく、多くの人と出会い、今まで考えもしなかったことや価値観の違いと向き合う経験をしていきます。一生の友となる人に出会うかもしれません。みんなに支えられてきたからこそ、「人は一人では生きていけない」「人と人は支え合っている」ことがわかっている卒業生。新しい多くの出会いに幸せをかみしめていくことでしょう。

しかし、今度は集団の中の一人だからこそ、つらくて苦しくて倒れそうになる時が必ずやってきます。時には集団の力に流され、自分の心と葛藤することもあります。その時は、どうか万倉小で培ってきた今の自分を思い出してください。自分を見失わず自分らしくいられるために、何をすればよいか、正しいことは何かを立ち止まって考え、みんなのためにできることを行ってみてください。そのことが必ず自分の幸せにつながると信じて。

人に出会えたことに感謝し、出会った人から様々なことを学び、どんな困難にもゆるがない強い心を育ててほしいと願っています。そして「あなたにめぐりあえて、ほんとうによかった」と言ってもらえる素敵な大人に成長した卒業生が、「思い出のランドセル」を開けに来る日を楽しみにしています。

また、見送り式では、たくさんの地域の方が見送ってくださいました。新メンバーになったマーチングの初演奏の中、卒業生は、保護者の方と一緒に「お世話になりました。ありがとうございました。」と感謝の気持ちを伝えながら花道を歩きました。最後は、万倉小の伝統である「常に、澄みて、明日も鳴る鐘」をPTA会長と一緒に鳴らし、そして6年間の思い出と感謝の気持ちがつまった「思い出のランドセル」をかけ、万倉小を巣立っていきました。

いつも卒業生を心から応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

